

令和5年度 第8回（11月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和5年10月23日（月） 15時00分～17時00分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成 職務代理者 薄田 東

委 員 出羽澤 和子・田中 博美・千 菊夫

事務局：藤澤 勇 教育次長

書 記：本間 裕子 以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

- 「テレビで若い女性が「冬めいて来ました」と話していました。私は今、「冬来る」間の方が強いのですが、季節の移り変わりをしっかり感じていきたいと思います。
- 予算編成の時期になり、奨学金について教育次長とともに、村長・副村長と話をいたしました。4大・短大給付型については、国・県の状況を踏まえながらこれから1年かけて詳細設計をしていく。工科短期大学校の助成金については、他の自治体で助成金を整えているが、助成があるから村に住むという観点でなく、村にある大事な工科短期大学校として「協定」を結ぶなど、連携などのあり方を踏まえて今後考えていくことになりました。11月定例会です。よろしくお願いいたします。

3 付議事案

議案第1号 南箕輪村学校給食センター設置条例の一部改正について

教育次長

○学校給食センターが新しく建てられることを踏まえ、議案第一号をお願いいたします。

- ・名称及び設置場所等の改正

教育委員

※異議なし（全員）

4 報告・確認事項

- (1) 学校給食センター建設事業について

教育次長

○会議資料にて「南箕輪村学校給食センター事業概要」について説明

- ・工事概要
- ・平面図および施設の特徴
- ・建設事業経過

○会議資料にて「南箕輪村学校給食センター建設工事の変更契約」について説明

- ・工事請負費内訳
- ・主な変更理由
- ・全体工事費 他

(2) 感染症に関して

教育長

○今日現在、小学校において 1 クラスがインフルエンザ感染症拡大防止の為学級閉鎖となっている。コロナ感染は落ち着いている状況。

(3) 社会教育関係事業について

※「神子柴遺跡」パンフレット・「神子柴遺跡講演会1（11月18日 於 神子柴公民館）」について報告

(4) 児童・生徒数について

※会議資料にて報告

(5) 事故報告

※会議資料にて報告 非公開

(6) 教育委員から

ア 第66回長野県市町村教育委員会研修総会報告（本村に参考になる内容等）

<第1分散会> 坂城町

○「子育て支援事業の連携」～乳幼児から18歳までの切れ目のない子育て支援～

- ・子育て支援事業の連携及び体制（A3版） 子育て関係は教育委員会
- ・高校・特別支援学校等地域資源の活用
- ・データの一元化、「成長と健康の記録」の活用
- ・多様化するこのニーズに応じた支援 インクルーシブ教育の展開
- ・中学校卒業後の追跡調査 必要に応じたフォローアップ

<第2分散会> 小諸市

○「これからを生きる子どもたちの、資質能力を育てるために必要な教育環境を求めて」～学校再編に向けた教育委員会の取り組み～

- ・少子化により、学校の存続について課題になってきている。
- ・市学校再編計画について、地元との合意形成の大事さ。

- ・小中学校9年間を通して連続的・系統的な指導「小中一貫教育制度」（将来的には義務教育学校へ）

<第3分散会> 大町市

○ 「これからの学校づくりを考える」

～子どもにとって学びやすく教師にとって働きやすい大町市の教育～

- ・教職員の職能を高める支援 カリキュラムマネジメント推進委員会（学校づくり・授業づくり研修）
 - ・R8年4月を目標に地域の実情に応じた学校再編準備委員会校長を対象にしたビジョン研修 カリキュラムマネジメント推進委員会による職員研修により、自主的・自立的な教員の教育活動の展開
- ・学校運勢協議会制度の活用

<第4分散会> 松川町

○ 「0歳から18歳までの切れ目のない支援体制づくり」

～子育て世代包括支援センターの設置と運営～

- ・0～6歳まで居場所としての「おひさま広場」の活用
- ・教育委員会（子育て支援業務）と福祉課（母子保健業務）との連携
- ・支援が必要な子ども家庭に対するソーシャルワークによる支援の連携
義務教育の段階から高等学校における相談の継続

<第5分散会> 駒ヶ根市

○ 「内から育つ ひたむきな子」の育成をめざして 幼保・小中の架け橋支援のあり方探る ～保育幼児教育ビジョンの具現と総合的な学習の充実～

- ・地域（大人）も共に内から育つ 子どもの伸びを伴走する大人
- ・今こそ総合で教職の魅力をつくるべき（教育長の熱い思い）。
- ・アルミ缶集めで花火を上げて地域にお礼（中学生）

イ 上伊那社会教育関係者懇談会（11月17日）を終えて

- ・各市町村で、部活に地域移行に難しさ（課題）を感じている。
- ・公民館・社会教育指導員・教育委員それぞれの立ち位置があり、部活動の地域移行の話題に焦点化することの難しさがあった。現状でも生徒数が少なく、限られた部活しか活動できない学校もある。各市町村だけでは難しさがある。市町村をまたぐ展開が必要となるのでは。
- ・少子化により、公民館活動ができなくなってきている状況がある（各地区でチームが組めない等）が、皆地域の子どもの応援団で活動している。
- ・中学生が地域で活躍できる状況・場づくりを考えていく事が望まれる。

ウ 第10回「キャリア教育かみいな in 箕輪町」を終えて

- ・子どもたちの発表（総合的な学習の時間）の魅力を覚える。
- ・中学生・高校生と語る良さと大事さ。
- ・「社会人になって箕輪に住みたい？」を話題にしても…。

エ 願い等

- ・ある社会教育委員さんが、学校で大豆を栽培する支援をした。今年は大豆をうまく作れなかった。子どもたちは来年も作りたい願いを持つが、来年になる時にクラス替えがあり、今の仲間で大豆が作れない現状。社会教育委員さんは、「クラブで作っては」と提案されたと聞いた。部活の地域移行にもかかわるが村を含め地域の中に、子どもたちを応援したい方は大勢いると思う。
- ・基本学習は1年で終結。総合的な学習の時間は「学び方」を学ぶ、「探求の仕方」・「探求の喜び」を大事にすることではないか。
- ・子ども達の多様性を感じる。小学校低学年で丁寧な支援（学習支援ボランティア等）の必要を感じる。

(7) 11月事業報告・12月事業計画について

※会議資料にて報告・確認

(8) 教育委員会定例会日程

- 12月25日（月） 14：30 新学校給食センター見学
～定例教育委員会村民センター小会議（予定）
- 1月22日（月） 15：00 村民センター小会議（予定）

5 その他

- (1) 来年1月1日（月・元旦）に元旦初走り
- (2) 1月3日（水）「二十歳の集い式典」

6 閉会

以上